

第13回

障がい者就労セミナー

～ 手と手をつなげてつくる障がい者雇用～

障がい者就業・生活支援センター連絡協議会 令和7年12月12日（金）

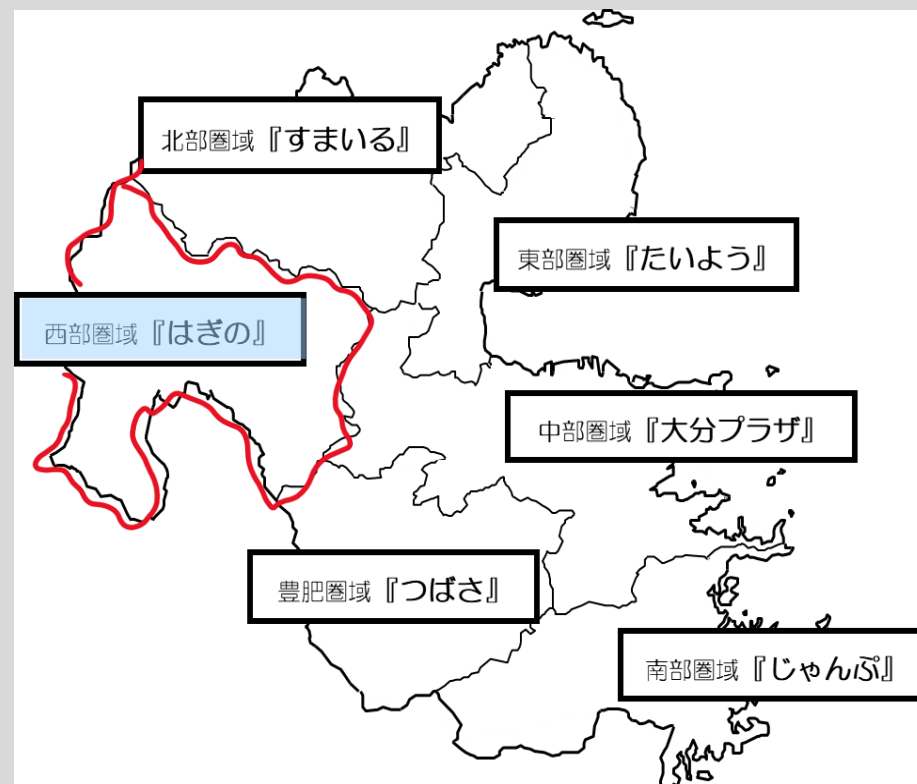
0 事務局より説明

【プレゼンター】

はぎの

西部圏域

（日田市、玖珠町、九重町）



障がい者就業・生活支援センターの支援内容について

障がい者就業・生活支援センター連絡協議会

- ◆障がい者就業・生活支援センター大分プラザ（中部圏域）
- ◆障がい者就業・生活支援センターじゃんぷ（南部圏域）
- ◆障がい者就業・生活支援センターつばさ（豊肥圏域）
- ◆障がい者就業・生活支援センターサポートネットすまいる（北部圏域）
- ◆障がい者就業・生活支援センターたいよう（東部圏域）
- ◆障がい者就業・生活支援センターはぎの（西部圏域）



各障がい者就業・生活支援センターより各テーマごとに説明

【テーマ】

- 0 事務局より説明
- 1 事業概要
- 2 雇入れ体験実習
- 3 就業面の支援(事例)
- 4 職場定着の支援(事例)
- 5 生活面の支援(事例)

【プレゼンター】

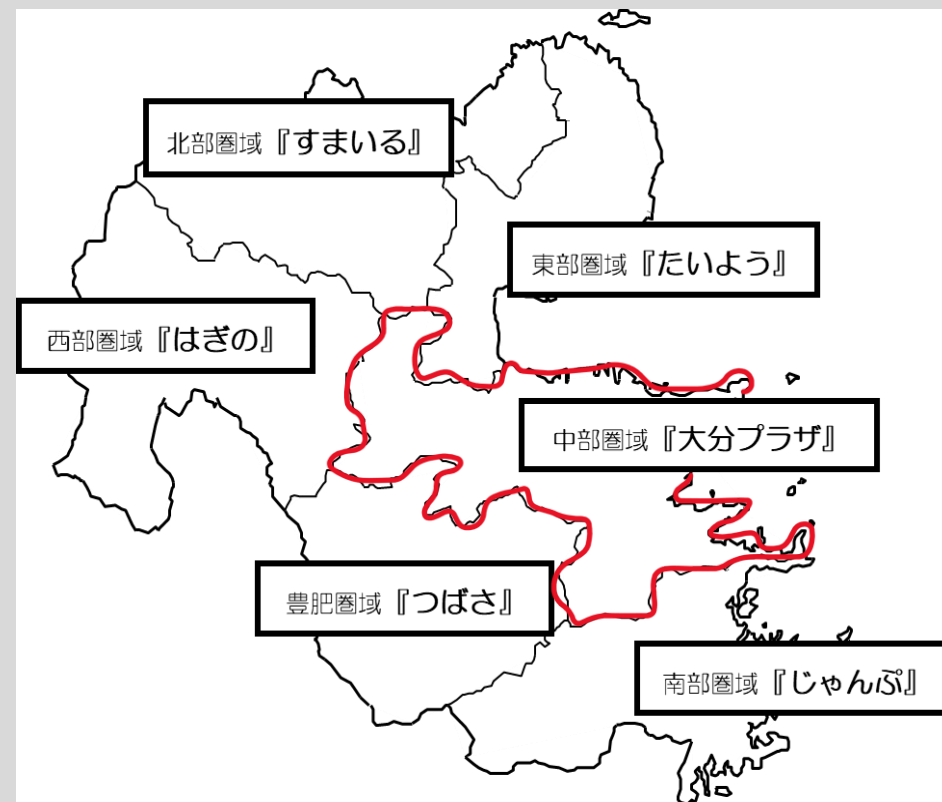
- 0 はぎの(西部圏域)
- 1 大分プラザ(中部圏域)
- 2 じゃんぷ(南部圏域)
- 3 つばさ(豊肥圏域)
- 4 すまいる(北部圏域)
- 5 たいよう(東部圏域)

1 事業概要

【プレゼンター】 大分プラザ

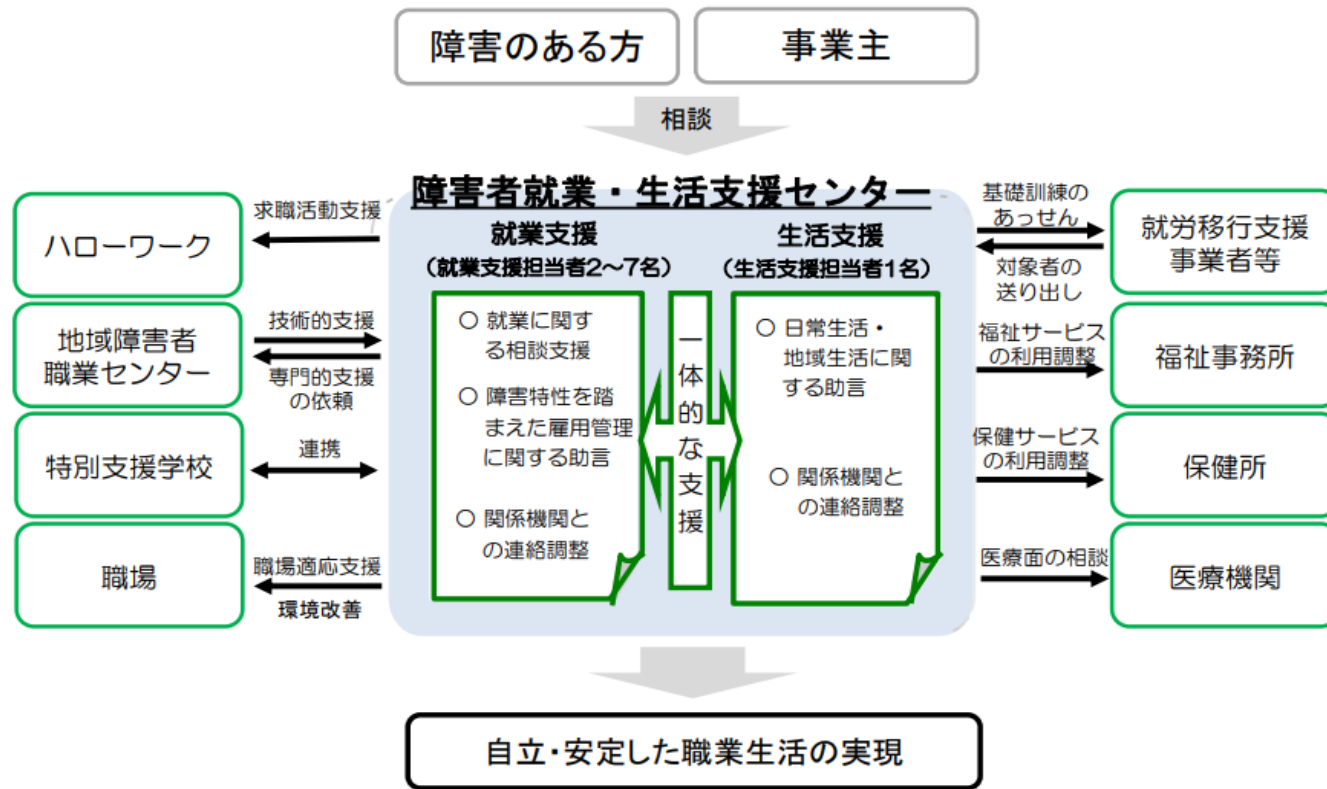
中部圏域

(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)



①事業概要／なかぽつセンターとは

雇用と福祉のネットワーク



障がい者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携の下、障がい者の身近な地域において**就業面及び生活面における一体的な支援を行い、障がい者の雇用の促進及び安定を図ることを目的**として、全国に設置されています。

I ②事業概要／支援例

障
が
い
の
あ
る
方

就職前

なかぼつに直接相談に来られる方や、就労系福祉事業所など関係機関、特別支援学校や一般校の先生・保護者からのご相談など。

本人の特性、能力に合った職務の選定、職場見学や職場実習の斡旋などハローワークや障害者職業センターと連携した就職活動。

就職後

就職後の職場訪問等による定着支援、就業に伴う日常生活上の支援等、安定した生活を送れるよう支援。必要に応じて医療機関や福祉サービス事業所等との連携。

事
業
主

雇い入れ前

新規お雇い入れに関するご相談など、職場実習制度を活用していただき、求職者とのマッチングに向けた支援。業務切り出し等、必要に応じハローワークや障害者職業センターとの連携。

雇い入れ後

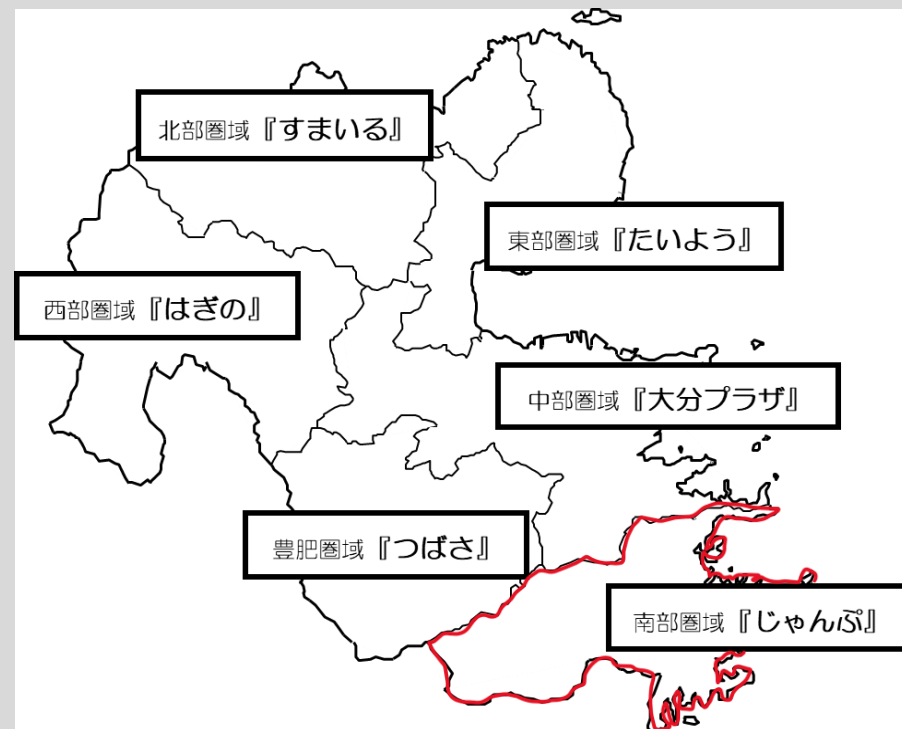
雇用管理に関するご相談や、生活面に不安のある方のご相談など、就労定着に向けた支援。必要に応じてヘルパー支援等の紹介など福祉サービスや関係機関との調整・情報共有。体調不良等でやむを得ず休職される方や復職される方への助言など。

2 雇入れ体験実習

【プレゼンター】

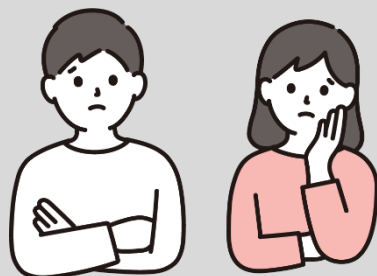
じゃんぷ

南部圏域
(佐伯市)



雇入れ体験実習って？

仕事を探しているけど
働く事に不安がある…



得意な事を活かしたい…
自分に合っている仕事って？

体験実習をする事で…

受入企業と実習生本人が
お互いの事を知ることが出来ます。



対象者

- ・大分県内に住んでいる方
- ・身の回りの事が自分ででき
一般就労を目指す意欲のある方
- ・実習先まで自分で行ける方。

》》 実際の業務がどれくらいできるのか？

》》 どのような配慮が必要か？

》》 どのような職場環境なのか？



企業と実習生のマッチングをはかります!!

2 雇入れ体験実習



企業：ねり製品製造業
職種：練り製品加工・調理



S様 なかぽつ登録者 求職中
40代 女性 精神障害
B型事業所から一般就労へ



顔合わせ・職場見学

STEP 01

職場環境を知りたい

- ・実習先の実際の環境や雰囲気を確認。
- ・仕事の内容をイメージする。
- ・企業側もどのような人なのかを把握。

実習打合せ

STEP 02

マッチングに向けて

- ・実習生のプロフィール票を企業様へお渡しをし、本人の特性を知ってもらう。
- ・本人の困り事、特性を考えた上で実務内容やマニュアル作りの相談／作成。
- ・実際に働く事を想定した実習のスケジュール調整。

実習

STEP 03

雇入れ体験実習

- ・定期的な訪問で実習生の様子や状況を確認。
- ・業務内容に関して本人と企業様より聞き取り、本人の能力や課題を抽出していく。
- ・実務状況、スキルの確認。

最終振り返り

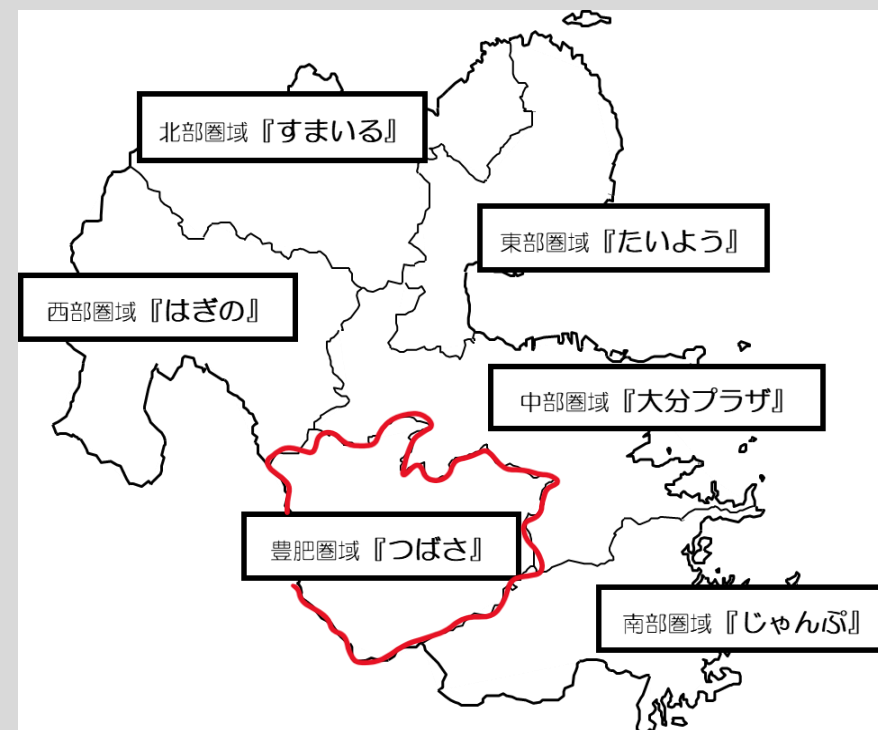
STEP 04

雇用における最終面談

- ・双方に実習を経ての感想や見えてきた課題、業務内容を確認する。
- ・企業様の雇用の可能性等の意向を確認。
- ・実習生の働く意欲・意思の確認。

3 就業支援

【プレゼンター】
つばさ（豊肥圏域）



Ⅰ 就業面の支援

企業

- 雇入れの相談
- 現在雇用されている障がいのある方の
労務管理や仕事面の相談
- 復職に関することの相談

相談

「障害者雇用したいがどうしたらいいか・・・」
「どういう仕事内容を準備したいかわからない・・・」
「どう接したらいいか・・・」
「復職する際、どう受け入れていけばいいか・・・」

登録者

- 就職に向けた支援
 - ・雇入れ体験実習のあっせん
 - ・就職活動の支援
- 就労訓練先等へのコーディネート

相談

「働きたいけどどうしたらいいか・・・」
「就職活動がひとりでは不安」
「どんな仕事があるかわからない」
「障害者雇用で働き始めたが、悩みが出てきた」

関係機関と連携し企業/障がい者双方のニーズに応じて様々なサポートをします

2 就業面の支援（事例）



A社：製造加工業
障害者雇用は未経験
業務拡大したいが人材不足
貴重な働き手として採用検討したい



なかぼつ登録者Bさん：求職中
20代 女性 知的障害
高校卒業後、障害者雇用で製造業に就職したが
家族事情による転居に伴い、通勤困難になり退職した

企業から問い合わせ

STEP 01

「障害者を雇入れしたい」

- ・企業側からなかぼつへ連絡来る
↓
- ・「雇入れをしたいので相談したい」
「障害者を雇用したことはないが、
何から始めると良いだろうか？」

雇入れ準備

STEP 02

企業へのヒアリング

- ・A社訪問。作業内容、環境の選定、
就労時間の提案等を実施。
↓
- ・求める人物像の確認
↓
- ・なかぼつ、登録者のBさんに適任
な企業ではないかと気づいた！

マッチング

STEP 03

雇入れ体験実習

- ・企業と登録者Bさんの顔あわせ
（実習前打ち合わせ）
- ・10日間の実習。短時間から開始、
段階的に時間延長。
- ・実習終了時、A社、Bさん、なかぼ
つ3者で実習の振り返り会議。
- ・双方マッチし、採用試験を受け、
採用決定。

雇入れ

STEP 04

障害者トライアル雇用から
正社員へ

- ・雇入れ体験時の条件と同等の業務
内容でトライアル雇用開始
- ・Bさんのやる気、働く様子が好評価
- ・なかぼつは社内の支援担当者と密に連携
- ・社内で障害に関する勉強会開催等、
企業に対するバックアップ支援を継続実施
↓
- 正社員雇用へ

4 職場定着の支援

【プレゼンター】
すまいる

北部圏域
(中津市、豊後高田市、宇佐市)



●フォローアップ

職場訪問や面談等を通じて、適応状況の把握する。
継続的に支援、フォローアップをしていきます。

●職場での自立に向けた支援

ナチュラルサポートを形成できるように自立を促し、支援を行います。

●困りごとに対する対応

定着に向けた支援の中で、困りごとが見つければ、対応を検討し、対応に関する助言等を行います。また、困りごとが生活面であれば、生活面の支援であげたような支援を実施します。

●関係機関との連絡調整



2 就業定着の支援（事例）



- ・ 女性 30代
- ・ 精神2級：躁うつ
- ・ 事務職勤務(病院)

＜登録までの経緯＞

- ・ 短期間で就労、離職を繰り返す。
- ・ 症状悪化のため、自宅療養。
- ・ 症状が改善されてきたため、就労したいとの思いで来所。

見学、実習

STEP 01

- ・ 本人と面談
- ・ 事務職、軽作業希望
- ・ 「安心できる企業で長く勤めたい」
→A社を紹介
- ・ 企業見学実施
- ・ 8日間の実習

就労開始

STEP 02

- ・ 6ヶ月間のトライアル雇用
- ・ 8:30～12:30
- ・ 週5日 4時間
「慣れてきたら少しずつ時間を延ばしたい」
- ・ トライアル終了後、1年更新

定着支援

STEP 03

- ・ 定期的な企業訪問
- ・ 本人と月1回の面談
- ・ 本人、企業に様子伺いの連絡
- ・ 本人の困りを企業に共有

現在

STEP 04

- ・ 「今の勤務時間を延ばしたい」との要望
4時間→6時間に延長
- ・ ナカポツ行事へ積極的に参加し、他の登録者との交流を深めている
- ・ 本人、企業との連携を継続

5 生活面の支援

【プレゼンター】

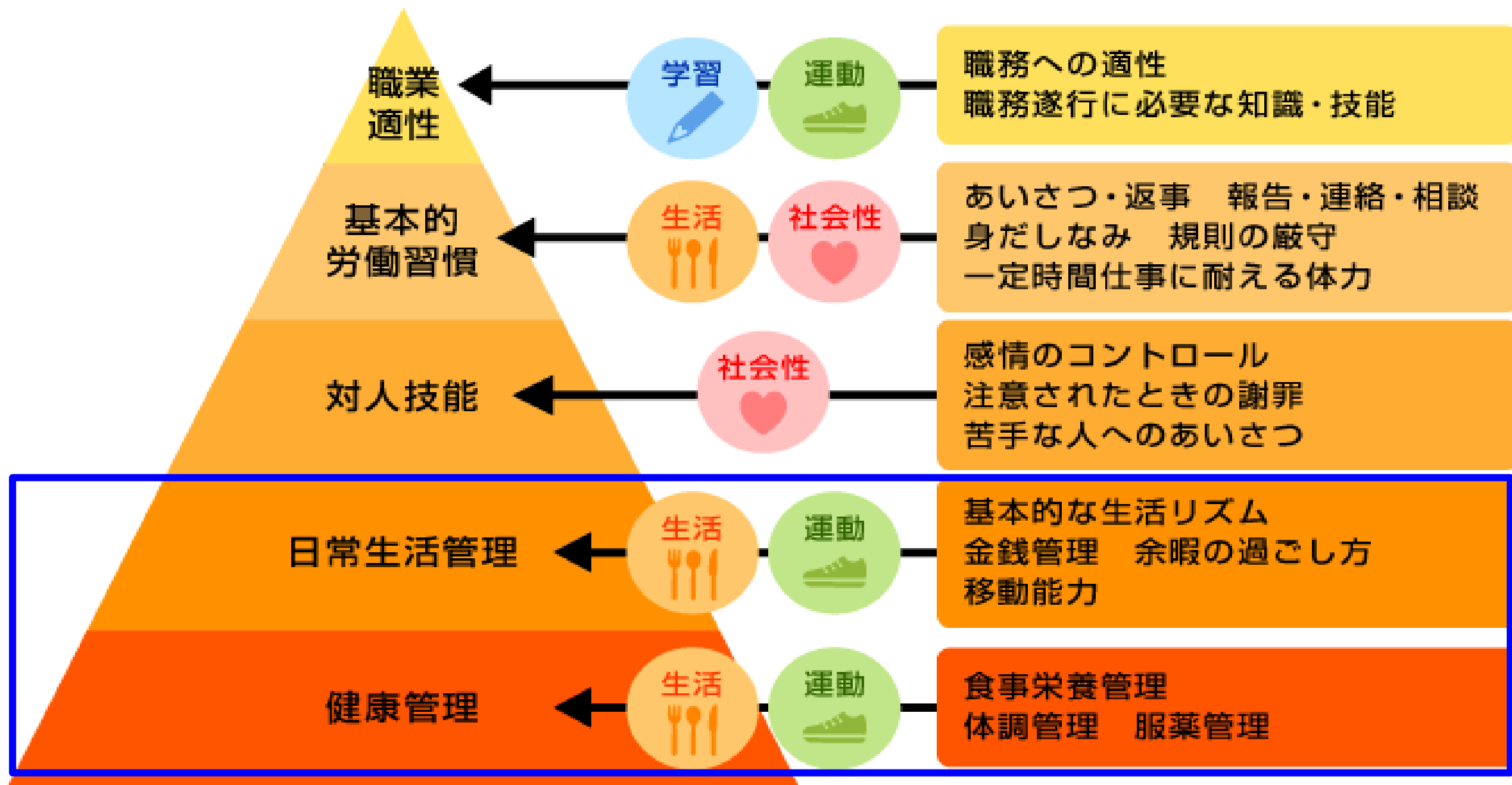
たいよう

東部圏域

(別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)



職業準備性ピラミッド



5-1 生活面の支援（事例）

●Kさん 福岡県出身。30代男性。就職して大分へ移住。アパートで独り暮らし。
発達障害（広汎性発達障害・ADHD）、強迫性障害の診断あり。糖尿病の治療中。服薬管理に課題あり。

高校3年次、福岡障害者職業センターで職業評価を受ける。

高校卒業後、評価を元に就職するが困りあり退職。

再就職先を探す中でハローワークの紹介で福岡障害者職業能力開発校に入学。

同校で職業訓練を受け、実習を経て、就職。大分へ移住。

会社からジョブコーチ（大分障害者職業センター）支援の依頼あり。

支援を受けつつ、就労を継続する中で生活面に困りがあり、なかぽつによる生活支援開始。

- ① 生活面の支援で介入開始
- ② ホームヘルプサービスの利用
- ③ 医療機関への受診同行
- ④ 訪問看護による服薬管理
- ⑤ 現在の課題に関して

本日はご参加頂きまして、ありがとうございました。

センターの名称・法人名	担 当 地 域
サポートネットすまいる (社福) 大分県社会福祉事業団 0978-32-1154	北部圏域 (中津市、豊後高田市、宇佐市)
はぎの (社福) 大分県社会福祉事業団 0973-24-2451	西部圏域 (日田市、九重町、玖珠町)
たいよう (社福) 太陽の家 0977-66-0080	東部圏域 (別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)
つばさ (社福) 紫雲会 0974-22-0313	豊肥圏域 (豊後大野市、竹田市)
じゃんぷ (社福) 大分県社会福祉事業団 0972-28-5570	南部圏域 (佐伯市)
大分プラザ (社福) 博愛会 097-578-6211	中部圏域 (大分市、臼杵市、津久見市、由布市)

